

平成23年度 飯豊山系砂防事務所 第3次補正予算について

平成23年度第3次補正予算は、東日本大震災の発生を踏まえ、被災地の復旧・復興等を強力に推進するとともに、東日本大震災を教訓として、災害に強い社会基盤整備をはじめとする国民生活の安全・安心の確保に向けた取組を緊急に進めるために必要な経費を地域の状況等に即しつつ、必要な事業に計上しています。

飯豊山系砂防事務所では、山形県西置賜郡小国町における五味沢砂防堰堤ごみさわの推進を含む、73百万円が配分されました。

1. 予算規模

全体事業費：73百万円（うち、山形県分事業費：21百万円）

2. 事業箇所

- ・五味沢砂防堰堤ごみさわの推進（山形県西置賜郡小国町）
- ・岩波沢砂防堰堤いわなみさわの推進（新潟県岩船郡関川村）
- ・上寺内砂防堰堤群かみじないの推進（新潟県新発田市）
- ・上赤谷砂防堰堤かみあかたにの推進（新潟県新発田市）

同時発表記者クラブ

・山形県政記者クラブ

問い合わせ先

電話：0238-62-2566（代表）

副所長（技術） 齋藤 明

調査・品質確保課長 酒井 優

<http://www.hrr.mlit.go.jp/iide/>

飯豊山系直轄砂防事業（五味沢砂防堰堤）の推進

山形県西置賜郡小国町五味沢地先

事業の概要

飯豊山系は、昭42年8月に発生した羽越水害により甚大な災害が発生しています（死者・行方不明者90人、家屋被害11,095戸：荒川水系）。当該流域下流には、新潟県境を跨ぎ緊急輸送道路（1次）に指定されている国道113号やJR米坂線があり、東日本大震災後も震災復旧にかかる日本海側と東北方面との重要な交流・物流ルートとして機能しています。

土砂災害が発生した場合、沿川等の広い地域に被害が懸念されるため、砂防堰堤を整備します。

整備効果

砂防堰堤の整備より、県境を跨ぐ重要交通網である国道113号（緊急輸送道路（1次））を守るとともに下流沿川地域の土砂災害に対する安全度を向上させます。

事業内容

砂防堰堤の整備に着手



上流域の荒廃状況



五味沢砂防堰堤



全景